

## 「災害支援対策委員会」

### 1. 構成員

#### 1) 委員

佐伯由香（委員長，愛媛大学）

酒井明子（福井大学） 三橋睦子（久留米大学）

河原宣子（京都橘大学） 三澤寿美（東北福祉大学）

#### 2) 協力者

なし

### 2. 趣旨

本委員会は、防災および災害支援に関わる事業を行うにあたり、看護系大学の防災組織のあり方や広報、防災教育などの重要事項を協議し、本事業の円滑、適正な運営を図ることを目的として活動する。

### 3. 活動経過

防災への意識は高まっているものの、実際に大学として、地域と連携した防災訓練を実施しているところは一部の大学である。そこで防災訓練実施の啓発事業の1つとして、大学と地域が連携して防災訓練を実施している三重大学 川口淳先生を講師に防災訓練実施に向けた研修会を実施した。研修後アンケートを実施し、会員校の災害対策の取り組みと課題について把握した。

### 4. 今後の課題

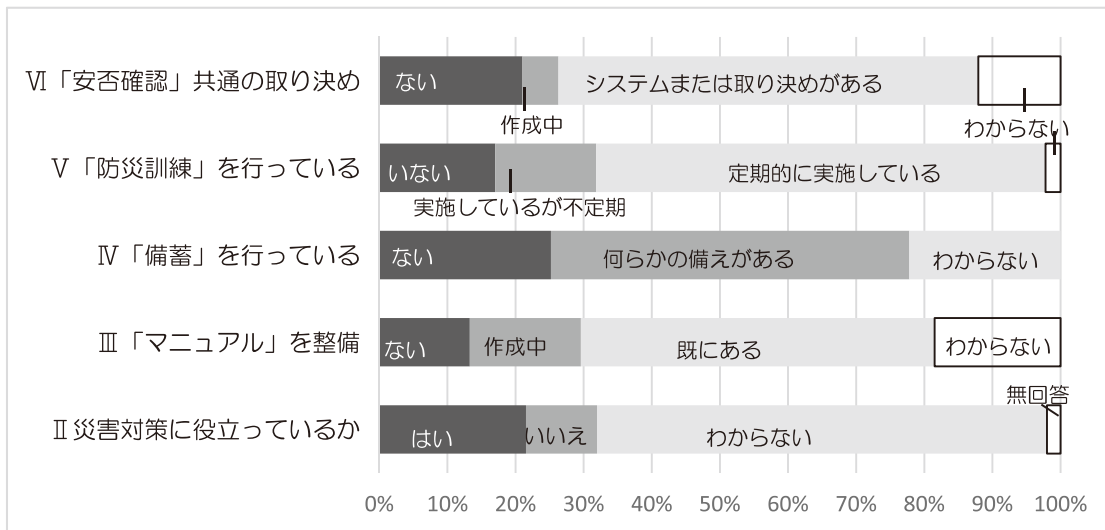
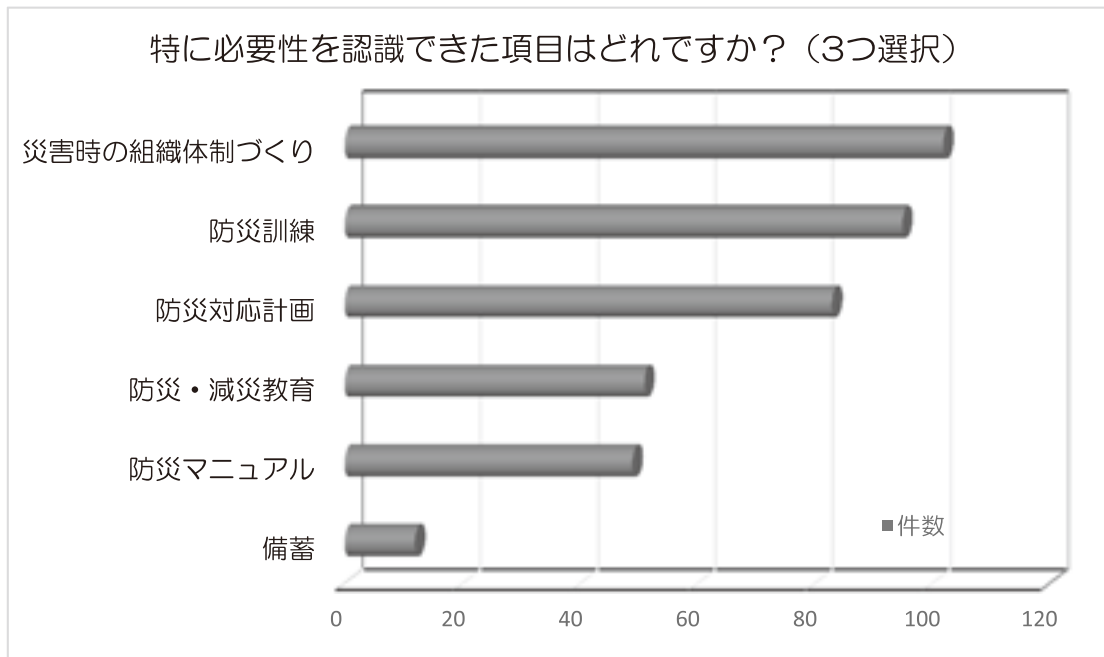
2013年に作成した「日本看護系大学協議会 防災マニュアル指針2013」のマニュアルの見直しを行い、実質的活用に向けて広報活動による啓発が必要である。また、東日本大震災の経験から災害発生時被災地の情報収集ならびに情報発信に関する連携体制の構築が必要である。

### 5. 資料

1) 3月29日研修会アンケート結果

2) 3月29日に実施した研修会資料（本協議会のホームページに掲載）

<http://www.janpu.or.jp/wp/wp-content/uploads/2015/05/0329SaigaiPresen.pdf>



(回収135名)

都心部の大学の対応事例を知りたい。

残念ながら九州は危機感がないのでは。

地域ごとの連携などが必要。今回はよかった。ワークショップなど計画を立てていただけるとうれしい。

県内の4大学で他分野の学生とともに減災教育をしています。自分の大学を計画的に訓練していかなければと思った。

メールで安否確認をする訓練をしています。とてもためになりました。

メールで安否確認をする訓練をしています。

コンパクトだけどぎゅっと詰まった講演でした。マニュアルはあるところまでとどまっています。どう行動できるかが課題です。なので、実践とか行動化の事例があればよいと思います。

防災訓練は真剣にやっていない。安否確認はあるが機能できるか不明。

看護教育機関としての地域の中での役割を地域住民と考えていく必要があると考えている。

講演の時間がもっと多くあったほうがよい。じっくり聞きたかった。

訓練強化が必要と考えています。

本日の講演は楽しくかつ分かりやすかったです。もっと詳しく聞きたい。我が大学も目の前が海なので。